

# 主要事業マネジメントシート

部局名 公安委員会

事業名	南警察署狭隘化対策の実施(南警察署別館整備事業)		／ 担当室課 警察本部会計課					
予算額	H24 H25	千円( ) 千円( )	H26 H27要求	千円( ) 15,641 千円( )	実績	H24 H25	千円( ) 千円( )	13,641 千円( )
事業の優先性	<input type="checkbox"/> 重点課題【知事重点分野】(項目名: ) <input type="checkbox"/> 成長戦略(項目名: ) <input checked="" type="checkbox"/> その他(項目名: 治安対策)		<input type="checkbox"/> 人口減少関係(項目名: ) <input type="checkbox"/> 新・地震防災アクションプラン(項目名: )					
事業選択	役割分担	民間との役割分担	<input type="checkbox"/> 民間では実施不可(行政がすべき役割) <input type="checkbox"/> 民間で実施するためのインセンティブとして実施 <input type="checkbox"/> その他(理由) 公共施設建設に関する事業であるため。		行政としての役割	<input checked="" type="checkbox"/> 府の役割 <input type="checkbox"/> 国の役割 <input type="checkbox"/> 市町村の役割(理由) 警察施設の建設は施設管理者としての府の役割		
	事業手法	手法の妥当性	南警察署は管内の治安情勢等から、現庁舎の竣工時より大幅に定員が増員(372人→513名)し、治安回復のため体制強化を図ってきたところであるが、狭隘化が著しい状況になっており、効率的な警察活動や犯罪捜査に支障をきたしている。現庁舎は昭和62年に竣工し、築年数27年であり、建物耐用年数から考えると当面建替えの予定はなく、抜本的な問題解消を図るには一定規模の別館建設や施設借り上げが必要となるが、管内には府等が所有する空き施設はなく、別館を建設する余地もなかった。しかし、26年2月に「新・大阪府警察待機宿舎基本整備計画」において南寮を廃止することとされたことから、跡地活用を検討したところ「大阪市の法敷地であり、警察施設として活用する場合は無償使用可能」、「南警察署と近接した場所」、「1000㎡程度の庁舎建設が可能」であることから別館建設地の適地としたものである。事業実施により、狭隘化も著しく、勤務環境も悪化していたものが解消されると見込まれる。					
		受益と負担	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり(内容・水準: ) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない(理由: ) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担になじまない					
		将来のリスク管理	別館庁舎及び設備の維持経費					
	事業間調整	庁内での連携	住宅まちづくり部公共建築室との調整が必要					
	他事業との整合性等	「新・大阪府警察待機宿舎基本整備計画」(平成26年2月制定)における平成27年度南寮廃止が事業実施の前提となる						
事業効果	目標・指標	(事業目標)	警察署別館庁舎の整備による狭隘化の解消				-目標に達しなかった場合の見直し・改善方策	
		(指標)	業務の効率化、府民サービスの向上により警察署機能の充実強化を図る					
		(事業期間)	H 27 ~ H 30					
	コスト分析	(指標)	(コスト分析結果)					
		H24(フルコスト)	千円 / (指標数値)	=	千円			
		H25(フルコスト)	千円 / (指標数値)	=	千円			
特記事項	<事業優先性や事業選択の判断に影響を与えるような事情が新たに発生した場合等に記入>							